

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年 6月28日

【評価実施概要】

事業所番号	0170401012		
法人名	アトム商事株式会社		
事業所名	グループホームあすか		
所在地	札幌市西区西町北12丁目4番7号 (電話) 011-664-3773		
評価機関名	(有)ふるさとネットサービス		
所在地	札幌市中央区北1条西5丁目3 北1条ビル3階		
訪問調査日	平成19年6月26日	評価確定日	平成19年7月25日

【情報提供票より】 (19年5月31日事業所記入

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 3 月 8 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数	9 人
職員数	11 人	常勤 9 人, 非常勤 2 人, 常勤換算 10 人	

(2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	2 階建て	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45,000 円	その他の経費(月額)	20,000円 (暖房費10月~4月) 8,000円
敷 金	(有) (4,5000 円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	230 円	昼食 230 円
	夕食	540 円	おやつ 夕食に含む 円
	または1日当たり 1,000 円		

(4) 利用者の概要 (5月31日 現在)

利用者人数	9 名	男性 1 名	女性 8 名
要介護1	2 名	要介護2	4 名
要介護3	2 名	要介護4	名
要介護5	1 名	要支援2	0 名
年齢	平均 81.7 歳	最低 77 歳	最高 88 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	宮の沢ファミリークリニック なかお歯科
---------	---------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホームあすかは、地下鉄駅から近く、買物に便利な住宅街に位置する恵まれた立地環境にある。建物内は、便利で暮らしやすい工夫がされており、熱心な管理者のもとに、温かいケアが実践されている。利用者は、居間で思い思いにくつろぎ、表情がとても明るい。職員は、利用者と同じ目線での会話を心がけ、人生の大先輩として敬う気持ちを忘れないようにしている。利用者には、花の名前を教えてもらったり、昔話を教えてもらったり、おやつを作る時には協力してもらうなど、ともに過ごし支えあう関係を築いているが、更に、利用者自身が進んで力を発揮できるような環境や場面づくりを職員同士で話し合うなど、ケアサービスの向上に意欲的である。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 介護計画書の作成日や援助期間、利用者や家族の同意を示す署名・捺印に不備が見られたが、外部評価後には、直ちに改善されている。前回評価での改善課題が全て改善されているわけではないが、できるところから直ぐ対応しており、事業所として努力していることが確認できる。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価の実施には職員全員で取り組み、外部評価の結果を踏まえ、サービスの改善に取り組んでいくことを確認しているが、自己評価及び外部評価を実施する意義の理解不足も確認したので、現在、職員の勉強会も検討されている。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 運営推進会議は3回実施されており、ホーム側からの報告とともに、参加者からの意見・要望を受け、双方向的な話し合いを行なっている。特に地域との交流について建設的な話し合いが行なわれている。今回のサービス評価の結果も運営推進会議の議題の一つとして取り上げていく予定である。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 家族に対しては、気軽になんでも話し合える雰囲気作りに努めている。玄関に意見箱を設置しているが、特に意見が入ったことはない。現在、家族会は設けていないので、家族が意見・不満・苦情等を気兼ねなく表せる機会作りのために、アンケートをとるなどの取り組みや家族会の設置を検討しているところである。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 運営者が、地域の要職に就いていることもあり、町内会や地域の活動を通してホームの役割が地域に理解されるように取り組んでいる。ホームの行事に地域の方々を招待しているが、今後は、職員や利用者も町内の清掃などの地域行事に積極的に参加することを検討中である。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスの意義を職員全員で確認し、事業所、職員全体で実践していくため、従来の理念に、果たすべき役割を反映した実行方針を補足追加した。	○	地域密着型サービスとしては、何が大切かを再度全職員で確認し、現状にあった事業所理念を作りあげていくことを期待したい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者は、理念を基本姿勢とし、申し送り時など必要時には確認し方向性を示しているが、全職員が理念を共有し、日々の実践に常に活かしているまでには至っていない。	○	職員全員が理念の意義を理解し、日々の実践の中で具体化していくために、管理者は、毎月のミーティング時に、理念の具体化、実践化について職員と話し合いをし、意見の統一を図っていくことを期待したい。
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	運営者が、民生委員など地域の要職に就いていることもあり、町内会や地域の活動を通してホームの役割が地域に理解されるように取り組んでいる。ホームの行事(納涼祭)に地域の方々を招待している。	○	今後は、職員や利用者も町内の清掃などの地域行事に積極的に参加し、地元の人々と交流していくことが期待される。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価の実施には職員全員で取り組み、外部評価の結果を踏まえ、できることから改善に取り組んでいるが、全職員が、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解するまでには至っていない。	○	自己評価及び外部評価の意義の理解と活用をテーマに、区の管理者会議で研修を行なう予定である。その内容を周知するため、ホーム内の会議や勉強会を行なうなど全職員の共通理解を深めていくことを期待したい。

札幌市 グループホームあすか

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は3回実施されており、ホーム側からの報告とともに、参加者からの意見・要望を受け、双方向的な話し合いを行なっている。	○	今回のサービス評価の結果を運営推進会議の議題の一つとして取りあげ、さらに、サービス向上に生かしていくことを期待したい。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	2ヶ月に1度開催される区の管理者会議で、区の担当者と意見交換をしており、個別に相談もしている。	○	今後は、市の担当窓口も訪問し、積極的に情報提供を行ない、市と協力してサービスの質の向上に取り組んでいくことを期待したい。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の来訪時には話し合いの時間を設けて利用者の状況について話をし、緊急時には電話で連絡している。また、月1回、金銭出納の明細・領収書のコピーを郵送し、隔月一回、交互に、「お便り」と「お手紙」を郵送している。年1回、全スタッフの写真が載った紹介文も郵送している。	○	隔月一回、交互に、郵送している「お便り」と「お手紙」の内容を見直し、「お手紙」を毎月にして、「お便り」の内容を簡潔にするなど、職員の負担を軽減しながら、情報提供を密にしていくなど職員間で話し合い、工夫していくことが期待される。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族に対しては気軽になんでも話し合える雰囲気作りに努めている。玄関に「意見箱」を設置しているが、意見が入ったことはない。現在、家族会は設けていない。	○	家族が意見・不満・苦情等を気兼ねなく表せる機会作りのために、アンケートなどの採用を期待したい。また、家族会設置の検討を期待したい。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の離職があり、職員間の引き継ぎや、利用者へのフォロー等には細心の注意を行なったつもりであるが、家族への連絡や利用者のダメージを防ぐための配慮がやや不足している。	○	担当職員の異動に関しては、利用者への配慮はもちろん、家族等への不安に配慮して、手紙などによる状況説明や報告をきめ細やかに行ない、利用者の特性に配慮した説明を行なうなど、全職員で話し合い、より良い方法を探っていくことを期待したい。

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の育成のために、外部研修を職員が受講できるように日程の調整をはかっている。また、職員が受講したい講習の把握に努めている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	区の管理者会議では、職員の交流会が企画されているが、職員の入れ替わりもあり、現状では、全職員が地域の同業者と交流を深めるまでには至っていない。現在、有志で相談して、互いのグループホーム見学会の企画が進められている。	○	管理者研修会の交流会には、勤務上都合のつく職員が少しでも多く参加することが望まれる。また、グループホームの見学会の成果も期待したい。
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用開始前には、主に家族にホームを見学してもらっている。利用開始後には利用者と職員がゆっくり話をして馴染みの関係を作っており、雰囲気直ぐ馴染めない利用者には家族の協力を得て、数日間、家族に泊まってもらったりと工夫している。	○	サービス利用開始前に、本人にホームの見学をしてもらうことが困難な場合は、管理者や職員が本人に会いに行くなど、安心して納得しながらサービスを利用してもらえる関係作りを期待したい。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、利用者と同じ目線での会話を心掛け、人生の大先輩として敬う気持ちを忘れないようにしている。利用者には、花の名前を覚えてもらったり、昔の話を覚えてもらったり、おやつを作る時に協力してもらったりと、ともに過ごし、支えあう関係を築いている。	○	職員が声掛けし、お願いしたり誘ったりすることで利用者と協力関係はできているが、ともに過ごし、支えあう関係を築くためには、利用者自身が進んで力を発揮できるような環境や場面づくりを期待したい。

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者との日々のかかわりの中で、会話や表情から一人ひとりの思いや意向について関心を寄せ、把握しようと努めている。	○	全ての利用者が思いや意向を表出できれば良いが、表出できない利用者については、拒否などの行為がでた時点で、職員の側に問題はなかったのかを常に検証をしていくことを期待したい。
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	利用者が自分らしく暮らせるように、家族や関係者の気づきや意見を反映した介護計画を、職員全員で話し合いながら作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	基本的には3ヶ月ごとに介護計画を見直しており、状況に応じて随時見直しし、現状に即した支援を行なう体制を整えている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者の通院時には、基本的に家族が送迎するが、診察には職員も家族と一緒に話を聞いている。美容院や行きたい場所など必要な支援には臨機応変に対応している。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者は全員、かかりつけ医の受診を受けることができる。職員に看護師が2名おり、利用者の訴えや家族の相談を受け、話し合いながら適切な支援をしている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	開設してから3年を過ぎ、利用者が重度化した場合の事業所のあり方、対応が求められてきた。現在、重度化した場合と、終末期のあり方についての指針を作成中である。		
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員の言葉遣いは丁寧であり、個別的にきちんと対応している。慣れからくる気安さにも留意している。職員は記録物をホームの外に持ち出さないなども徹底している。	○	個人情報保護法の勉強会などを通し、プライバシーの内容や対応をさらに深めていくことを期待したい。
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床時間、食事の時間など利用者1人ひとりのペースを尊重し、個別性のある支援を行っている。	○	その人らしい暮らしとはどういうことかを、職員間で話し合い、今以上に理解していくことが期待される。

札幌市 グループホームあすか

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の力量に応じ、料理の盛付けや食器洗い、片付けなどの役割を行なっている。職員は利用者と一緒に、同じ食事を味わいながらさりげなく支援している。	○	利用者に、料理の盛付けや食器洗い、片付けなどは協力してもらっているが、料理作りには参加ができていない。今後は積極的に参加してもらうような場面作りを期待したい。
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	現状では、入浴は週2回、時間は午後と決められているが、それ以上入浴したい利用者には、シャワー浴も採り入れ、入浴を拒否する利用者には強制しないように柔軟に対応している。	○	一人ひとりの習慣や好みを良く聴いて、家族等にも相談しながら、個別的な希望に沿う入浴支援を更に検討されるよう期待したい。
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	掃除、洗濯物たたみ、食器の盛付け、後片付けなど利用者は、各々が役割や楽しみを持っている。しかしながら、職員が日常の業務に忙殺され、レクリエーションに関われなかったり、レクリエーション自体がマンネリ化しているなどの反省もある。	○	職員の繁忙さや、レクリエーションのマンネリ化に対応するために、職員だけでは対応だけではなく、ボランティアの活用等も検討することも期待したい。
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎月の行事、日常の散歩、買物など職員の人数から完全とは言えないが、工夫し、対応している。しかしながら、利用者によっては、職員に対し遠慮して外出の希望を伝えないケースも見られる。	○	希望する利用者に対して均等に外出の機会が得られるように、実習生やボランティアの受入れを検討し、少しでも利用者の日常的な外出を支援していくことが期待される。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	現在、職員の同行なしで外出してしまう利用者があるため、家族等とも話し合い、職員が多く配置されている時間帯の、現在午前10時半から、午後7時の間以外は施錠している。	○	午前10時半まで施錠しているので、ストレスがたまる利用者もいることが予測される。日によっては、利用者の状況をみながら、早い時間から開錠する日を増やしていくなど、状況に応じて対応していくことを期待したい。

札幌市 グループホームあすか

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年1回、職員の指導も含め、防災訓練を実施しているが、夜間も含め、災害時に対応する緊急マニュアルの整備は整っていない。	○	緊急マニュアルの整備と、運営推進会議などを通じて、避難回路や場所も含め、地域との協力体制を具体的に検討することを期待したい。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の食事に関しては、外部業者に委託している。外部業者との月1度のミーティング等を通じ、利用者の栄養状態や食事量を確認している。現在、水分摂取量の少ない利用者があり、職員が工夫して対応に当たっている。	○	水分摂取量の少ない利用者に水分をとってもらいように、今後も職員間での話し合いや研究を重ねて対応していくことを期待したい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間のソファーには、利用者がそれぞれお気に入りの場所があり、皆で思い思いにくつろいでいる。ホーム全体は明るく、廊下の要所にも明るい色のソファーが用意され、居心地の良い空間となっている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、利用者の使い慣れた家具や馴染みの物が用意され、安全で安心な生活の場となっている。		

※ は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。